

インターネットでの調べもののしかた

現在、インターネットをはじめとした電子情報は、どんどん拡大し手軽に利用できる情報源となっています。しかし、この情報を課題や論文に利用するにあたっては、十分な注意が必要となります。

では、インターネットを利用するにあたり何に気をつけたいのか、またどう利用すれば希望の資料を探し出すことができるのか、ということを中心に記述していきたいと思います。

信頼性のある電子情報

インターネットで調べものをしようとするときまず頭に浮かぶのは、YAHOO!や Google に代表される検索エンジンだと思います。これらは、便利なツールであり簡単に情報が手に入るものです。

しかし、**学術調査の点から見ると、完全であるとはいえません**。それは、インターネット上の情報には、内容の事実関係の裏をとり引用された文章を点検して、正誤・適否を確かめていないものが非常に多いのです。これがされていない情報は、**信頼性が低い**のです。

そこで信頼できるデータベースやインターネット情報源を知っておくことが、信頼性の高い情報を確実に手に入れる方法であるといえます。

情報を検索する

情報検索とは、コンピュータを使って情報が蓄積されたデータベースから必要な情報を取り出すことをいいます。ただ検索したからといって必要な情報をポンと出してくれるわけではありません。

そこで、中島玲子ほか編『スキルアップ！情報検索』(2017 日外アソシエーツ)から効率よく情報を探すコツを紹介します。

- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| 1. なぜほしい情報が見つからないのか | 検索には戦略がある |
| 2. 何を調べたいのかはっきりさせる | 何をどのくらい知りたいのかメモしておく |
| 3. 適切な検索語を選ぶ | 情報の種類に応じて検索語を使い分ける |
| 4. 適切な情報源を選ぶ | データベースの収録範囲には得意分野がある |
| 5. 選んだ情報が適切か評価する | 欲しい情報によって評価は変わる |
| 6. 情報の信憑性を確かめる | Web 上だけでなく、様々な媒体の情報に触れる |
| 7. 幅広く、柔軟に探す | PC での情報にこだわらず、広く情報源を探す(書籍、人に聞くなど) |

情報検索についての基本から実践までが書かれた本です。岐女短図書館でも所蔵していますので、ぜひ利用してみてください。

データベース

- * データベースとは、コンピュータを利用して、情報を整理・蓄積し、探し出すことができるようにしたシステムです。
- * データベースには、オンラインで利用できるものと、CD-ROM 版のものがあります。
- * データベースを利用するにあたり、重要な役割を果たすのが「**キーワード**」です。データベースでは、蓄積された情報のひとつひとつに、人名、地域名、項目名など、その情報の内容を表すたくさんのキーワードがつけられており、それらのキーワードから情報を探し出すことができます。

キーワードをうまく見つけるには

データベース検索に限らず、調べ物をする時にはキーワードが必要となってきます。ところが、思いついた言葉で探そうとしても、どうしても見つからない時があります。そこで、どうしたらうまく見つけることができるのかを説明します。

1) キーワードを見つけたら

同義語や関連語を思い浮かべる

同じ事柄を表すほかの言葉を「**同義語**」といいます。同義語を頭の中で思い浮かべてください。

(本 → 書物、書籍、単行本など)あるいは、それと**関連する周辺**の言葉を思い出してください。(例えば、「本」であれば → 資料、文献、論文など)

略語は正式名称に、正式名称は略語に

略語は正式な語に直してみてください。(例えば、デジカメはデジタルカメラ、NHK は日本放送協会など)

逆に、**略語がキーワード**になっている場合もあります。(例えば、欧州連合を EU など)

より狭い概念やより広い概念の言葉を探す

広い概念の言葉で探して見つからない場合は、**テーマを特定**したり、**狭い概念の言葉**を探してください。(例えば、ワインを探すのなら「酒」ではなく「ボジョレーヌーボー」やそのまま「ワイン」で探す)

言葉の順番を変える

ことばの**順番を変えて**みてください。(例えば、「インドの宗教」なら「宗教(インド)」など)

複合語は分割する

長い**複合語**は、**分割**した方がよい場合があります。

(例えば、「オーストラリア旅行案内」なら「オーストラリア」「旅行」「案内」に分けてみる)

読みは正しいか

キーワードの読み方が間違っていないか確かめましょう。(例えば、「日本」は、「ニッポン」が正式な読み方ですが、「日本大学」のように「ニホンダイガク」が正式な読み方である場合もあります)

参照をたどる

中には、「**…を見よ**」「**→**」「**see**」などの表示がされている場合があります。これを**参照**と呼んでいます。

(例えば、索引で「献立」をひくと、「料理を見よ」と書いてあります。この場合「料理」に献立についての記述があるということです)

これは、**関連した情報**なのでそちらも探したほうがいいですよという意味です。

すでに入手している資料をひいてみる

もし、もうすでになんらかの資料を手にしていて、こんな感じの資料も見たいということならば、その持っている資料の著者名や書名で検索してください。**同じような内容の資料を探したい**ならば、**すでに持っている資料と同じキーワード**から探せばいいのです。

2) キーワードリストの利用

キーワードリストがある場合は、これを利用してキーワードを見つけることができます。

一般図書の件名は『基本件名標目表』を利用しています。

上手な検索の仕方

データベース検索は、求める情報内容を表すキーワードと、3種類の組み合わせ記号(AND、OR、NOT)を使って行われます。ひとつのキーワードのみではなく、複数の情報から探したい場合にこの演算を使います。

たとえば京都の観光の本について調べたい時「京都」というキーワードと「観光案内」というキーワードで探することができます。

1) AND 検索

複数のキーワードを合わせ持つ情報を探す方法(「京都」と「観光案内」の両方のキーワードが含まれている)

2) OR 検索

どちらかのキーワードが含まれている情報(「京都」と「観光案内」どちらか一方が含まれている)

3) NOT 検索

大きなキーワードのなかから省きたいキーワードを指定して絞り込む方法

(「京都」のキーワードを含む情報のうち、「観光案内」のキーワードが含まれていない情報)

- * 入力のしかたや指示のしかたは、データベースによって多少異なりますが、データベース検索は、基本的にはこのようなキーワードと論理演算子の組み合わせで行われています。

アクセスできるデータベースには次のようなものがあります。

国立情報学研究所(NII)

- * **CiNii Books**(**大学図書館の本を探す**)(<http://ci.nii.ac.jp/books/?l=ja>)
- * **CiNii Articles**(**日本の論文を探す**)(<http://ci.nii.ac.jp/ja>)
- * **CiNii Dissertations**(**日本の博士論文を探す**)(<http://ci.nii.ac.jp/d/?l=ja>)
- * **Webcat Plus**(**連想検索から本を探すサイト**)(<http://webcatplus.nii.ac.jp/>)
- * **IRDB**(**学術機関リポジトリデータベース**)(<https://irdb.nii.ac.jp/>)

国立国会図書館

- * **国立国会図書館サーチ**(**資料などを検索する統合的アクセスポイント**)(<http://iss.ndl.go.jp/>)
- * **国立国会図書館デジタルコレクション**(**デジタル資料を検索・閲覧できるサービス**)(<https://dl.ndl.go.jp/>)
- * **リサーチ・ナビ**(**調べ物に有用な情報を集めたサイト**)(<http://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/research-navi.php>)

その他

- * **カーリル**(**日本最大の図書館蔵書検索サイト**)(<http://calil.jp/>)
- * **J-Stage**(**科学技術情報発信・流通総合システム**)(<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>)

ぜひ利用してみてください。